

令和4年10月4日

第55回鹿児島県高等学校新人バドミントン競技における
新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

鹿児島県高体連バドミントン専門部

新型コロナウイルス感染症対策として、下記の通りの対策をとって大会運営を行う
※鹿児島県高等学校体育連盟「主催大会等の開催における感染拡大予防ガイドライン（令和4年4月14日改訂）」と、公益財団法人日本バドミントン協会「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」より引用

1. 大会開催への配慮及び準備に関する注意事項

※大会参加に当たって

大会に参加する場合は、学校として責任を持って、会場への移動時や宿泊時、会場での更衣室、休憩・待機スペースの利用時など、大会における競技活動以外の場面も含め、生徒、部活動顧問等の感染防止対策を講じる必要がある。また、参加する学校ごとに感染予防の責任者を配置させること。（原則、引率者が兼ねる。）

(1) 大会関係者の入場について

- ・会場への入場者は、原則、大会申込書に記載のある「引率者・監督・コーチ・マネージャー・選手」に加え「大会関係者（役員・補助員・報道等）」「チーム関係者（保護者等）」とする。
- ・当日に提出される名簿に記載されている者のみ入場可とする。

(2) 式典等、運営の簡略化

- ・監督会議は実施する。開会式は実施するが時間短縮をする。閉会式は行わない。
- ・感染症対策を講じた上で関係者のみで表彰式を実施する場合もある。

(3) 大会会場内に関する確認及び準備事項

- ・競技に支障がない範囲で換気のため常に開放しておく。
- ・関係者が触れると考えられる場所（洗面台、ドアノブ等）をこまめに消毒する。
- ・更衣室の使用は短時間の更衣のみとする。4名以上で使用しない。シャワーは使用禁止。
- ・観覧席での食事は、黙食を徹底する。
- ・観覧席は事前に割り当てを行う。割り当てられたゾーンを利用する。
- ・他校との交流は妨げないがソーシャルディスタンスを意識させる。

(4) 大会本部及び関係者控え室

- ・大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。
- ・可能な限り常時、窓や扉を開放する。難しい場合はこまめに換気する。
- ・運営物品や共有物等は、定期的に消毒を行う。

(5) 競技会場（競技スペース）及び競技関係用具類等

- ・競技の特性を考慮し、遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
- ・窓や扉が解放できない場合は、換気のタイミングや換気時間等をきめ、事前に周知する。
- ・コートサイドの道具などは、各自用意したものの中に収容させる。
- ・試合前後の選手同士の握手は行わない。

(6) 観客の管理

- ・今大会の入場は、チーム関係者のみとする。
- ・所属校の試合の際に入場し観戦させる。
- ・観戦する保護者には、所属校の試合が敗退した場合退館を促す。

(7) 大会期間中に感染者が発生した場合

- ・大会の継続、中止の判断については、保健所等の指導に従い県高体連で判断する。継続が可能な場合は、その後の競技の組み合わせ等について競技専門部で決定する。

(8) 上位大会への出場校決定について

- ・上位大会への予選を兼ねている大会が中止となった場合は、県高体連が定める「県高体連主催大会が中止になった場合の上位大会出場校の決定について」にしたがって、決定する。

2. 大会参加者に関する留意事項参加者には以下の措置を周知する

次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる

- (1) 体調がよくない（例：発熱・咳・倦怠感などの症状がある）
- (2) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- (3) 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該が移住者との濃厚接触がある

※参加校の引率者は、3_参加者名簿を作成して大会当日受付に提出すること。名簿に記載のない者は入館できない。また名簿記載者は、4_体調チェック表を各自作成して引率者へ毎日提出すること。引率者は、大会期間中保管すること。

以上